行動計量学会報

日本行動計量学会事務局
〒152 東京都港区南麻布 4－6－7
統計数理研究所　村上研究室

理事長に就任して

柳井晴夫

この度，新理事会の指名により第4代の理事長の大任をおおせつかることになりました．

本学会が1973年9月に発足してここ二十数年以来，本学会の役員（事務局，理事，編集委員など）を務めて参りましたが，理事長として本学会を統括していかなければならない立場になり身の引締まる思いがします．理事会，各種委員会の委員の構成もほぼ終了しましたが，これらの委員の方々のお力を借りながら，本学会のますますの発展に向け努力する所存ですのでよろしくお願い申し上げます．

発足当時，本学会がカバーする領域であった法律学，政治学，心理学，社会学，教育学，さらには医学，保健学，地理学といった分野における計量的手法がまだ十分に行き渡っていないこともあり，計量的手法を標榜した学際的学会として注目を集め，会員数も僅か2，3年のうちに1000人近くになりました．その後，会員数は増加するというよりはむしろプラトーの状態が続いていましたが，前理事会の会費未納者の整理を行うという決定により，現在の会員数は長らく続いていた1000人の大台を割ることになりました．このため前理事会において，行動計量学における新しい分野の開拓，広報活動の強化，講習会，月例シンポジウムの頻繁なる開催，学会誌の強化といった学会の活性化のための具体的施策が検討されました．その意味で，今期の理事会は，学会の活性化を至上命令にしなければなりません．

このためには，まず，様々な領域における課題解決のために既存の行動計量学的方法論の利用を推奨することが挙げられましょう．また，必要とされる課題解決のために新しい方法論の開発が必要となることはいうまでもありません．行動計量学的手法が必要とされる分野は上記の分野に限らず，理工学系（とくに建築，土木，環境科学の分野），経営学，家政学，看護学，芸術学といった分野においても広まりつつあります．学会設立当時の会員は皆無であったこれらの分野における会員数が年々増加傾向にあります．本学会の和文誌『行動計量学20巻1号』における交通行動の特集もまさにこのような状況下にあって，はじめて可能となったものでしょう．

この他，行動計量学的研究が要請されている研究課題としては，入学試験関連研究があります．最近の入試方式は多様化され選択科目数が多くなりつつありますが，選

－次ページへ－

－前ページから続く－

択科目間の難易度に著しい差が生じた場合，入試の公平性を維持するためにどのようなアクションをとるべきかといった問題はまさに行動計量学的課題でありましょう．このように，多数の領域において行動計量学の叡知が要求とされている課題は少なくありません．いや，むしろ年々，増加しているといっても過言でないでしょう．

ところで，本学会に関して囁かれる批判のひとつに会員の老齢化が挙げられています．この意味でも，本学会を若い研究者に魅力のあるような学会に変貌させていくことが本理事会に与えられた最大の責務であると考えております．

（やないはるお．日本行動計量学会理事長，大学入試センター研究開発部）

新理事会の構成

今年度発足し，今後3年間任務につきます新理事および幹事は次の方々です．なお，各理事の任務分担は，後述の平成６年度第１回理事会議事録をご覧ください．

理事長

柳井 晴夫（大学入試センター）

理事

飽戸 弘（東大）
浅野長一郎（創価大）
池田　央（立教大）
岩崎　学（成蹊大）
岩坪 秀一（大学入試センター）
海野 道郎（東北大）
江川　清（国立国語研究所）
岡太 彬訓（立教大）
久保 武士（筑波大）
後藤 昌司（塩野義解析センター）
駒澤　勉（統計数理研究所）
斎藤 堯幸（北海道大）
繁桝 算男（東工大）
芝　祐順（人事測定研究所）
杉山 明子（東京女子大）
高木 廣文（統計数理研究所）
田栗 正章（千葉大）
田中　豊（岡山大）
直井　優（大阪大）
永井 武昭（大分大）
馬場 康維（統計数理研究所）
林 知己夫（元統計数理研究所）
肥田野 直（元東大）
松原　望（東大）
水野 欽司（大学入試センター）
宮原 英夫（北里大）
村上 征勝（統計数理研究所）
村上　隆（名古屋大）
吉野 諒三（統計数理研究所）

監事

丘本　正（追手門学院大）
宮原 守男（虎の門法律事務所）

新運営委員会発足

５月16日の理事会の承認を受けて，田栗正章氏（千葉大）を運営委員長とする新運営委員会が発足しました．運営委員会では，講習会，セミナーなどの企画運営，学術会議を含む広報活動，会報作成などを行なうことになっています．

学会活動のより一層の充実・発展のため，様々な企画の実現が待たれます．

新運営委員名簿

運営委員長

田栗 正章（千葉大）

運営委員

岩崎　学（成蹊大）
江川　清（国立国語研究所）
大津 起夫（北海道大）
岡太 彬訓（立教大）
木谷　忍（東北大）
久保 武士（筑波大）
栗原 考次（岡山大）
椎名 乾平（早稲田大）
繁桝 算男（東工大）
杉山 明子（東京女子大）
高木 廣文（統計数理研究所）
野口 裕之（名古屋大）
前田 忠彦（統計数理研究所）
松原 義弘（塩野義製薬㈱）
宮埜 壽夫（千葉大）
柳原 良造（㈱マーケティング・サービス）
山田 文康（大学入試センター）

学会誌への投稿先の変更（重要！）

学会誌の編集委員長ならびに和文誌，欧文誌の各編集委員長の交代に伴い，論文の投稿先が変更になりました．学会誌への投稿原稿は，事務局ではなく，それぞれ下記の和文誌あるいは欧文誌編集委員長宛に送付して下さい．

和文誌「行動計量学」への投稿

〒171 東京都豊島区西池袋 3－34－1
立教大学社会学部
岡太 彬訓
TEL　03－3985－2319
FAX　03－3985－2833
e-mail　okada@rikkyo.ac.jp

欧文誌「Behaviormetrika」への投稿

〒227 横浜市緑区長津田町 4259
東京工業大学総合理工学研究科
システム科学専攻
繁桝 算男
TEL　045－924－5654
FAX　045－924－5684
e-mail　kshigema@cc.titech.ac.jp

新編集委員長から一言

和文誌『行動計量学』の編集委員長をお引き受けして

岡太 彬訓

このたび，田栗和文誌編集委員長に代わって和文誌編集委員長を担当することになりました．不慣れな点がありますが，会員の皆様のご協力により，従来同様に，質も量も高度で知的刺激に富んだ本学会らしい内容の学会誌となるよう努力したいと思います．

学会員の成果を世に問うという意味で，学会誌の編集は価値のある，また，やりがいのある仕事であると考えます．どうぞ，よろしくお願いいたします．

欧文誌『Behaviormetrika』の編集委員長をお引き受けして

繁桝 算男

このたび，村上欧文誌編集委員長に代わり，欧文誌編集委員長を担当することになりました．不慣れなことも多く，前編集委員長やみなさまにご迷惑をかけるのではないかと心配しておりますが，一生懸命がんばるつもりではありますので，よろしくお願いいたします．

従来の良い伝統を継承していくことはもちろんですが，もし"Behaviormetrika"の編集方針等について，何かご意見，ご示唆等がありましたらいつでもお伝え下されば幸いです．何よりもたくさんの論文を投稿して下さることを始めとして，みなさまのご協力をお願いいたします．

新編集委員名簿

編集委員長

池田　央（立教大）

和文誌編集委員長

岡太 彬訓（立教大）

和文誌編集委員

石塚 智一（大学入試センター）
市川 雅教（東京外語大）
岩崎　学（成蹊大）
上田　徹（ＮＴＴ通信網研究所）
江川　清（国立国語研究所）
大津 起夫（北海道大）
大津 展之（電子技術総合研究所）
久保 武士（筑波大）
後藤 昌司（塩野義解析センター）
駒澤　勉（統計数理研究所）
高木 廣文（統計数理研究所）
高橋 伸夫（東大）
田栗 正章（千葉大）
富山 慶典（群馬大）
豊田 秀樹（大学入試センター）
永井 武昭（大分大）
林　　文（東洋英和女学院大）
宮埜 壽夫（千葉大）
宮原 英夫（北里大）
村上　隆（名古屋大）
盛山 和夫（東大）
吉村　功（東京理科大）
渡部　洋（東大）
渡辺美智子（東洋大）

欧文誌編集委員長

繁桝 算男（東工大）

欧文誌編集委員

猪口　孝（東大）
植木　武（共立女子短大）
海野 道郎（東北大）
江島 伸興（長崎大）
小笠原春彦（鉄道総合技術研究所）
狩野　裕（筑波大）
岸野 洋久（東大）
木村 通治（埼玉短大）
熊谷 康雄（国立国語研究所）
今野　浩（東工大）
斎藤 堯幸（北海道大）
新村 秀一（住商情報システム(株)）
高根 芳雄（McGill大）

田中　豊（岡山大）
丹後 俊郎（国立公衆衛生院）
千野 直仁（愛知学院大）
辻谷 将明（大阪電通大）
永岡 慶三（放送教育開発センター）
中村 和男（工業技術院）
原科 幸彦（東工大）
前川 真一（大学入試センター）
村木 英治（Educational Testing Survice）
山口 和範（立教大）
吉野 諒三（統計数理研究所）

会議記録

平成５年度第５回理事会

日　時：平成６年１月24日（月）
場　所：大学入試センター
出席者：水野（理事長），池田，岩坪，上笹，江川，岡太，駒澤，田栗，肥田野，宮原，村上，柳井，繁桝．

１．前回議事録の確認
前回議事録のうち ５．各種委員会報告に次の文を追加する．「運営委員会より第57回シンポジウムが統計数理研究所で開かれ52名の出席があり盛会であった．」

２．会員の異動について
２名の入会者（10月１名，11月１名），３名の退会者を承認した．また，３年以上会費　滞納者142名（正会員119名，準会員19名，賛助会員４名）の除名を承認した．

３．名簿作成について
事務局より，名簿の原稿の準備が整ったが，役員の改選時でもあり，次期役員が決定した後に発行してはどうかと提案があり承認した．また，統計学研連のリーダーシップによる名簿情報の共通化に関して積極的に協力していくことが確認された．

４．第22回大会の準備状況について
第22回大会の久保実行委員長より，今後の日程，特別講演，シンポジウム，チュートリアル等の企画について説明があり，それに対していくつかの要望があった．

５．日本学術会議第16期会員の候補者の選定について
本学会として独自の候補者はださないことにした．本学会の推薦人を江川理事とした．

６．学会の活性化について
活性化ワーキンググループ（主査：岡太理事）より提言の骨子が説明された．これに基づき種々審議し，この審議を踏まえ，次回の最終の理事会において，提言をまとめることとした．

７．各種委員会報告
○選挙管理委員会
宮埜選挙管理委員長にかわり，次期理事および幹事の選挙の結果が報告された．なお，総投票数148，有効投票数147，白紙１であった．
○和文誌編集幹事会
20巻２号が現在校正中であること，21巻１号については３月中旬ごろまでに原稿が集まること等の報告があった．

平成5年度第6回理事会

日　時：平成6年3月12日（土）
場　所：大学入試センター
出席者：水野（理事長），池田，岩坪，江川，岡太，高木，肥田野，宮原（英），村上（征），柳井，繁桝．

1．前回議事録の確認
一部の語句を修正し，原案どおり承認した．

2．会員の異動について
4名の入会者（12月3名，1月1名），3名の退会者（12月2名，1月1名）を承認した．

3．各種委員会報告
○和文誌編集幹事会，欧文誌編集幹事会
それぞれ編集状況について報告があった．
○運営委員会
まもなく会報ができること，4月にシンポジウムが予定されているとの報告があった．

4．学会の活性化について
岡太理事を主査とするワーキンググループの報告を承認し，次期理事会への提言として採択した．

平成6年度第1回理事会

日　時：平成6年4月4日（月）
場　所：大学入試センター
出席者：柳井（理事長），池田，岩崎，江川，久保，繁桝，杉山，田栗，肥田野，松原，水野，村上（征），村上（隆），吉野．

1．会員の異動
1名の入会を承認した．

2．追加理事の決定
追加理事として，松原 望（東大），田栗正章（千葉大），吉野諒三（統数研），海野道郎（東北大）の4氏を加えることを承認した．もう1名の追加理事に関しては次回の理事会で検討することにした．

3．理事の任務分担
今後3年間の日本行動計量学会における理事の分担について検討し次の事項が承認された（丸印は委員長）．

- 編集委員会委員長：池田．
- 事務局：村上（征），吉野．
- 和文誌幹事長：岡太．
- 欧文誌幹事長：繁桝．
- 運営委員：田栗○，杉山，江川，岩崎，高木．
- 学会賞選考委員会委員長：後藤．
- 会則検討委員会：松原○，肥田野，久保，村上（征），林，芝，駒澤，岡太．
- 名誉会員選定委員会：岩坪○，水野，松原，江川．
- 大会担当：村上（隆），浅野，飽戸．
- 地方担当：斎藤（北海道）；海野（東北）；村上（東海・北陸）；直井，後藤(近畿)；田中(中国・四国)；永井（九州）．
- 海外担当：馬場．

運営委員会では，講習会，月例会担当，広報（含：学術会議），会報作成を行う．会報担当者は運営委員会で検討する．なお，次回理事会までに各責任者は編集委員，運営委員の候補者を選定しておくことを了承した．

4．その他

第5回日本中国統計学シンポジウム，及び，日本ファジイ学会主催の2つの講習会に対して協賛することを了承した．

他学会等協賛

☆講習会（有料）「バーチャルリアリティ」

主　催：日本ファジイ学会
日　時：平成6年6月24日（金）
　　10：00～17：00
場　所：明治大学百周年記念館
　（ＪＲ・地下鉄お茶の水駅下車）
定　員：１００名（先着順）
申込先：日本ファジイ学会事務局
　（担当：荒木）
〒231　横浜市中区山下町 89－1
シイベルヘグナービル3F
TEL　045-212-8253
FAX　045-212-8256

☆第5回日本中国統計学シンポジウム

日　時：平成6年10月31日（月）～
　　11月4日（金）
場　所：岡山理科大学・国際交流会館
〒700　岡山市理大町１－１
事務局：〒700　岡山市理大町１－１
岡山理科大学理学部応用数学科内
第5回日本中国統計学シンポジウム
事務局　　中川 重和
TEL 086-252-3161
FAX 086-255-0238

☆第8回日韓統計会議

日　時：平成6年10月2日（日）～
　　10月5日（水）
場　所：岡山大学大学院自然科学研究科
　〒700　岡山市津島中 3－1－1
組織委員長：林 知己夫
論文申込締切：平成6年6月30日
事務局：〒700　岡山市津島中 3－1－1
岡山大学教養部統計学教室内
第8回日韓統計会議事務局
田中　豊
TEL 086-251-8509
FAX 086-252-1442

☆第14回医療情報学連合大会

日　時：平成6年11月21日（月）～
　　11月23日（水）
場　所：神戸国際会議場
　神戸市中央区島中町 6－9－1
演題申込締切：平成6年6月10日
事務局：〒565　吹田市山田丘 2－15
大阪大学医学部付属病院医療情報部内
第14回医療情報学連合大会組織委員会
事務局
TEL 06-879-5900
FAX 06-879-5903

公募案内

◎ 成蹊大学工学部経営工学科
人　員：教授（または助教授，講師）１名
分　野：情報工学
採用予定：平成７年４月１日
応募締切：平成６年８月31日
照会先：〒180 東京都武蔵野市吉祥寺北町
３－３－１
成蹊大学工学部経営工学科
渡辺 一衛 (TEL 0422－37－3762)
または
飯塚　肇 (TEL 0422－37－3869).

会員による著訳書

行動計量学シリーズ
１．林 知己夫 (1993.11)『行動計量学序説』朝倉書店．3,296円．
２．穐山貞登 (1993.11)『数量化のグラフィックス』朝倉書店．3,296円．
３．山本俊一 (1993.11)『健康の計量学』朝倉書店．2,678円．

岡太彬訓・今泉　忠 (1994. 1)『パソコン多次元尺度構成法』共立出版．2,987円．
大串健吾 監訳（1994. 4）『聴覚心理学概説（B. C. J. Moore 著）』誠信書房．4,635円．
永井武昭他訳 (1994.4)『計算機統計学入門 (Yang & Robinson 著）』MPC．3,090円．
岩崎　学（1994. 4）『混合実験の計画と解析』サイエンティスト社．3,200 円．

入会手続き

学会では新入会員を広く募っています．詳しくは
〒 113 東京都文京区弥生 ２－４－16
㈶日本学会事務センター内
日本行動計量学会係
TEL 03－3817－5801
FAX 03－3817－5800
までお問い合わせください．

訃報

本学会の編集委員を十数年にわたって務められた吉田正昭氏（中央大）が４月20日ご逝去されました．慎んで追悼の意を表し，ご冥福をお祈りします．

会報担当者より

本号から会報の担当者が市川雅教氏（東京外語大）から岩崎（成蹊大）に代わりました．会報には従来までの学会からのお知らせに加え，会員の皆様からの情報を随時掲載していきたいと考えています．会員の皆様の積極的な投稿をお待ちしております．

原稿送付先

〒180 東京都武蔵野市吉祥寺北町
３－３－１
成蹊大学工学部経営工学科
岩崎　学
TEL 0422－37－3764
FAX 0422－37－3871